I-O DATA

3 Mac OS版 セットアップガイド HDMX-SUシリーズ

B-MANU200199-01

注意 **本製品のセットアップ作業を説明しています。手順にしたがって作業を行ってください。**
取り付ける前に本製品のシリアル番号(S/N)をメモしてください。(別紙【①はじめにお読みください】の【箱の中には】参照)
本製品のくわしい説明は、弊社ホームページよりMac版オンラインマニュアルをダウンロードしてご覧ください。

使えるようにする

1 OSを起動します。

まだ本製品を接続しないでください
本製品は手順 4 になってから接続します。

2 本製品以外のUSB機器をできるだけ取り外します。

3 下の作業を行います。

Mac OS X の場合（10.1～10.3）

※Mac OS X 10.4をお使いの場合は、手順 4 へお進みください。

「ディスクユーティリティ(Disk Utility)」を起動します。
[起動ボリューム]→[アプリケーション]→[ユーティリティ]→[ディスクユーティリティ]を開きます。

Mac OS 9 の場合

1. 「機能拡張マネージャ」を開きます。
   → [コントロールパネル]→[機能拡張マネージャ]をクリックします。
2. [File Exchange] を無効にします。([×] を外す)
3. [再起動] ボタンをクリックします。Mac OSが再起動します。

(Mac OS 9の[機能拡張マネージャ]画面)

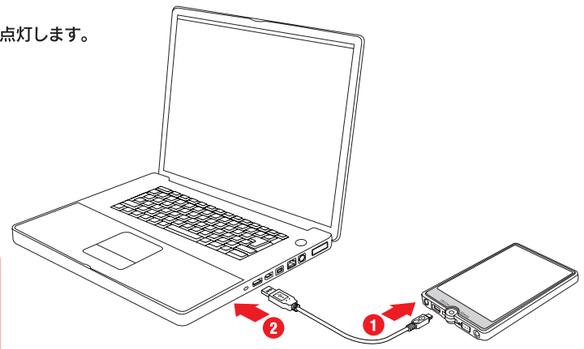


4 本製品を接続します。

1. USBケーブルを本製品にまっすぐ接続します。
2. 本製品をUSBポートに接続します。本製品の電源ランプが点灯します。

注意 **●コネクタの向きにご注意**
USBコネクタは接続できる向きが決まっています。
接続しにくい時は無理をせずに、コネクタの向きをご確認ください。
誤った向きで無理に接続しようとすると、USBケーブルやUSBポートが破損するおそれがあります。

●USBハブに接続する場合
- ●必ず電源に接続したUSBハブに接続してください。
- ●お使いの環境によっては、USBハブに接続すると正常に認識しない場合があります。その場合は、パソコンのUSBポートに接続してください。(バスパワーHUBには対応しておりません)



5 初期化します。

●本製品内にはWindows用サポートソフトを収録しています。
今後、Windowsでもご利用いただく予定のある方は、初期化の前にサポートソフトを他のメディア(CD-R、MOディスク等)にバックアップしてください。サポートソフトは、弊社ホームページよりダウンロードすることもできます。詳しくは、【②Windows版　セットアップガイド】の「本製品のフォーマット作業について」の「注意」を参照してください。

Mac OS X 10.1～10.3

※Mac OS X 10.4をお使いの場合、そのままご使用いただけます。手順 6 へお進みください。また、裏面の【Mac OS X 10.4 FAT32フォーマットでのご使用について】も合わせてご覧ください。

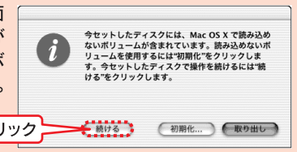
1. 本製品(I-O DATA HDMX-SU Media)を選びます。



※画面はMac OS X 10.3.3での例です。

2. [パーティション] タブをクリックします。
3. 初期化の設定を行います。
   ■ボリュームの方式：1パーティション
   ■フォーマット：Mac OS拡張（ジャーナリング）
4. [パーティション(OK)] ボタンをクリックします。
5. [パーティション] ボタンをクリックします。
   初期化が始まります。

参考 初期化後、以下の画面が表示される場合があります。[続ける]ボタンをクリックします。



※画面はMac OS X 10.3.3での例です。

この画面は表示されてからしばらく経つと消えてしまいます。消えた可能性がある場合は、一度パソコンに接続しているUSBケーブルを抜き差ししてください。

こんな時には…

本製品が表示されない

●本製品が表示されるまで時間がかかる場合があります。もう数分お待ちください。

Mac OS 9.1～9.2.2

1. 右の画面が表示されます。
2. 「名前」に本製品に付ける名前を入力します。
3. 「フォーマット」を [Mac OS拡張] に設定します。
4. [初期化] ボタンをクリックします。
   後は画面の指示に従ってください。



5. 手順 3 を参考に「File Exchange」を有効にします([×] を付ける)。

6 確認します。

アイコンの確認
ハードディスクのアイコンが増えていることを確認します。

これが本製品のアイコンです


Mac OS X


Mac OS9

裏へ続く

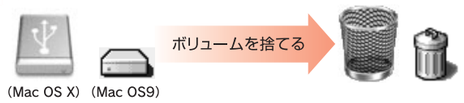
基本操作 ●本製品を使う上での操作について説明します。

【接続する】

本製品はいつでも接続することができます。手順 4 を参照し、本製品を接続してください。

【取り外す】

❶ 本製品のボリュームをゴミ箱に捨てます。　　❷ 本製品をUSBポートから取り外します。



Mac OS X 10.4 FAT32フォーマットでのご使用について

●本製品の出荷時状態(FAT32フォーマット)でそのままご利用いただけますが、下記に注意してください。

■FAT32フォーマットでご使用いただけるファイルサイズは約4GBまでです。
■本製品をマウントする場合に時間がかかる場合があります。USB 2.0接続で数十秒かかる場合があります。
■Mac OS X 10.4以外のMac OSでご使用いただく場合、FAT32フォーマットではご利用いただけません。
■Windowsとの併用をしない場合は、Mac OS拡張フォーマットでご使用いただくことをお勧めします。
フォーマット手順はオンラインマニュアルを参照ください。
■本製品の出荷時状態であらかじめ収録されているサポートソフト(「HDMX_SU_xxx」または「HDMX_SUNxxx」フォルダ内)は、Windows専用です。

オンラインマニュアルについて

【困ったときには】などの情報があります。ぜひご覧ください。

❶ 弊社ホームページのサポートライブラリより、Mac版オンラインマニュアルをダウンロードします。
→http://www.iodata.jp/support/product/hdmx-su/

❷ 「manual.htm」を開いてください。

本製品使用上のご注意

●ケーブルを取り外すときは、ケーブル部分ではなくコネクタを持って取り外してください。

●ご利用の本体との組み合わせにより、スタンバイ、休止、スリープ、サスペンド、レジュームなどの省電力機能はご利用いただけない場合があります。

●本製品にソフトウェアをインストールしないでください。
OS起動時に実行されるプログラムが見つからない等の理由により、ソフトウェア(ワープロソフト、ゲームソフトなど)が正常に利用できない場合があります。

●他のUSB機器を使う場合は下記に注意してください。
■本製品の転送速度が遅くなることがあります。
■本製品をUSBハブに接続しても使えないことがあります。その場合は、パソコンのUSBポートに接続してください。

●本製品からのOS起動はサポートされておりません。

●Mac OS(Mac OS X 10.4除く)とWindowsでは、フォーマット形式の違いにより併用することはできません。

●Mac OS Xでコピーする際は、ファイルシステムの違いに注意してください。
コピー元とコピー先でファイルシステムが異なると、エラーが発生する場合があります。
その場合は、ファイル名(文字や文字数)を変えてください。本製品を「Mac OS拡張」で初期化して使うことをおすすめします。

●本製品は1パーティションで使用することをおすすめします。